

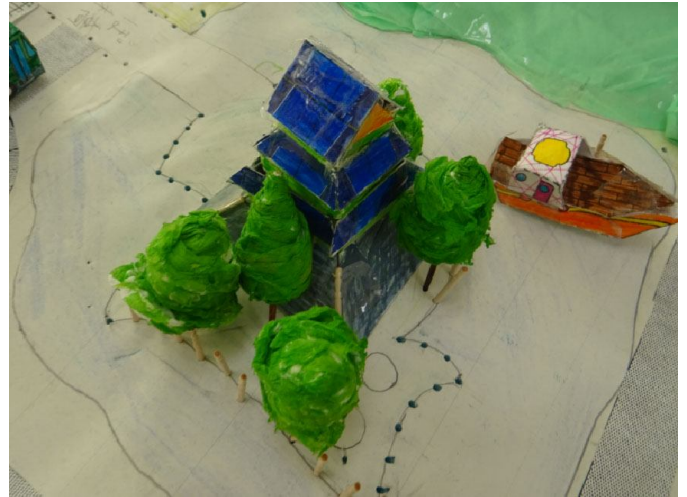
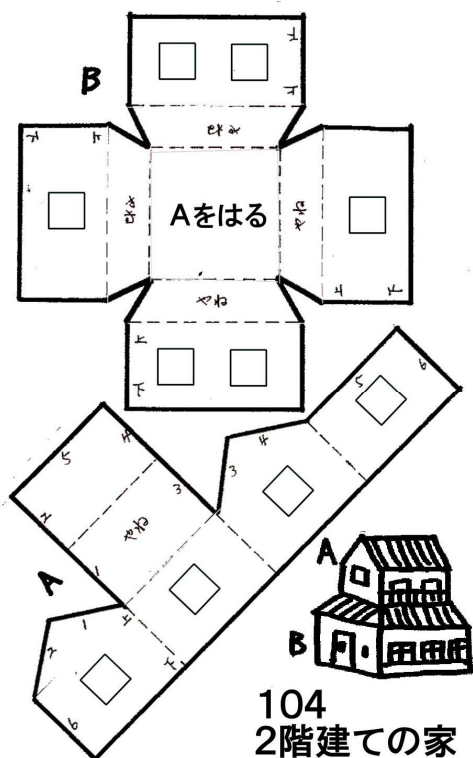
## 「街を4分割して持ち帰る(3)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

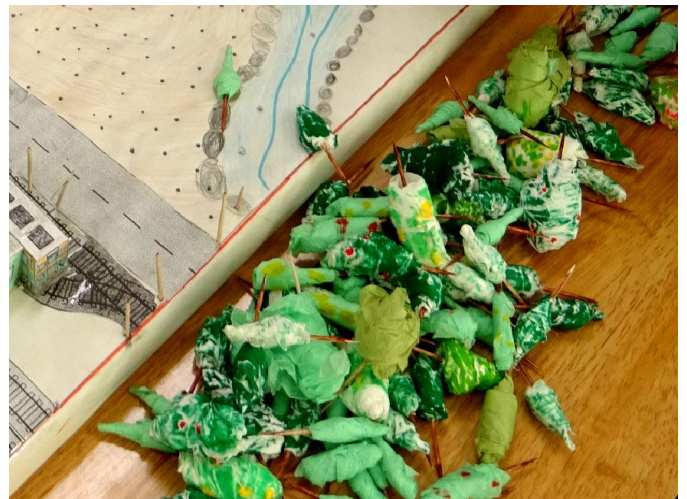
4人一組(一部の班は3人一組)で作った「街のジオラマ」には、たくさんの建物が建っている。少ない班でも20軒、多い班では5~60軒の建物があった。それを丁寧に、一旦全部撤去するのは、結構時間のかかる作業だった。



ある班が「撤去」した建物はこんなにあった。私が型紙を作って印刷し、それに色を塗って切り取り、組み立てたものが多い。型紙は全部で40種類ぐらいあって、それを考えながら組み立てるだけでも、3年生には楽しい体験である。



しかし、活動が進むにつれて、画用紙や工作用紙に自分で展開図を書いて、オリジナルの建物を造る子どもも多くなってきた。たとえば上の写真。松本城だという。周囲の樹木やお濠もすばらしい。



樹木も大量に撤去した。樹木は、楊枝にティッシュを巻きつけてのりで固定、その後着色して作る。薄い色紙(お花紙)で作れば、着色が不要なので、短時間で大量に作れる。



さて、撤去が完了したボードは、このような長机2台にすき間をつくってカットする。これが結構大変だ。